

広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

1. 五類定点疾患週報情報

令和7年第45週(令和7年11月3日～11月9日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1		No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症 (ARI) ※2	5,986	63.68	—	→	11	突発性発しん	13	0.23	0.25	
2	インフルエンザ ※3	871	9.27	3.36	↑	12	ヘルパンギーナ	3	0.05	0.21	
3	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	152	1.62	—	↘	13	流行性耳下腺炎	2	0.04	0.04	
4	RSウイルス感染症	73	1.28	0.26	↘	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	11	0.19	0.64	↓	15	流行性角結膜炎	28	1.47	0.48	↗
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	124	2.18	1.32	→	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	感染性胃腸炎	157	2.75	3.02	↘	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.03	
8	水痘	8	0.14	0.07		18	マイコプラズマ肺炎	45	2.25	0.77	→
9	手足口病	9	0.16	0.79		19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	40	0.70	0.00	→	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点 (内科)	ARI定点 (小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	37	57	19	20

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ～ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ～ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

●インフルエンザの定点当たり報告患者数が西部東、北部、広島市保健所管内で注意報開始基準値(定点当たり:10)を上回りました。インフルエンザが今後拡大する可能性があることから、令和7年11月13日、県内に「インフルエンザ注意報」を発令しました。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
伝染性紅斑	2	1	—	警報発令 (R7.5.22 発令)	0.71	1.60	0.60	0.33	0.55	0.13	1.43
インフルエンザ	30	10	10	注意報発令 (R7.11.13 発令)	8.77	11.63	3.22	12.60	11.23	6.67	8.25

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

●急増疾患 インフルエンザ (348 件 → 871 件)
●急減疾患 咽頭結膜熱 (22 件 → 11 件)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4		1	2				1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3
四類	2	日本紅斑熱	1		1					
		レジオネラ症	1			1				
五類	27	侵襲性肺炎球菌感染症	2						1	1
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	5					2	1	2
		百日咳	19		4			5	2	8

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>